

プラダ・フェルトリネッリ賞を受賞した著者、待望のデビュー作!

プラダ(PRADA)がイタリアのフェルトリネッリ出版社の協力のもと開催する文芸コンテストにて、第3回プラダ・フェルトリネッリ賞を受賞した経験を持つ注目の作家・松嶋圭、待望の初単行本。

- ・全国の文芸ファンが注目する文芸誌『アルテリ』に掲載された短編2編を収録!
- ・渡辺京二、吉本由美ら著名文筆家も推薦!!



四六判・上製・216頁
2018年10月15日発売

(内容)

壱岐島で暮らす、ごくごく普通の人々。しかし、その誰もが語るべき物語を持っている。「医師の家」の運命に翻弄される人と、一家をとりまく人々。フィリピンからやって来た一人の女性の淡い恋の記憶。軍人の父を持つ少女の強く、美しい生き様。島に暮らす人々に残る戦争の記憶……。島の空気、懸命に自分の物語を紡ごうとする人々の力強さ、はかなさ、愛おしさ。すべてが溶け合い、ひとつの歌を紡いでいく。

【著者】松嶋 圭(まつしま・けい)

昭和49年長崎県壱岐市生まれ。熊本在住の精神科医。2016年に第3回プラダ・フェルトリネッリ賞を日本人で唯一、また初受賞。

【取次】

トーハン、日販、きんぶん図書、大阪屋栗田(トーハン経由)

推薦コメント続々!

松嶋さんの壱岐島物語の魅力は、中心をなす医師一家の因果の奥深さのみならず、島に生きるすべての人が、自分なりの物語を懸命に紡ぎ出している様子を描いた点にあるだろう。すなわち、島は発光し歌っているのだ。

日本近代史家 渡辺京二
(主著『逝きし世の面影』『黒船前夜』等)

事実は小説よりも奇なり。この本はそれを証明する。両親・祖父母とその周辺の島に暮らす人々のごくごく普通の人生がこれほど波乱万丈だなんて。語りの方に引き込まれる“ルーツめぐりの冒険譚”だ。

文筆業 吉本由美
(主著『するめ映画館』『かつこよく年をとりたい』等)

それぞれの、名前を呼ばれていたころの遠い記憶。誰もが、語るべき物語を持っている。

橙書店店主 田尻久子
(『アルテリ』責任編集者)

梓書院 (貴店番線)	注文	ご担当	拡材	ISBN 978-4-87035-631-3 C0093
			A4パネル	よう こう 陽光
			A6 POP	
	冊	様	○を付けて下さい	定価 1,944円 (本体1,800円+税)
松嶋圭 著			福岡市博多区千代3-2-1 (tel)092-643-7075	

*直取引ご希望の場合は、お問合せください **【ご注文は FAX : 092-643-7095 梓書院 (担当: 森下) まで】**